



現千葉県議会議員

岡村やすあき



教育 2 学力向上

学ぶ力を育てる教育を推進するなかで、個性や独創性を伸ばす教育の実現に努めます。

学ぶ力を育てる

今、子ども達の学力の低下が大きな問題となつています。現在、学力の内容として、一般的には、国語の読解力・数学的応用力などが挙げられています。

しかし、世界の学力動向としては、「①教科横断的な力量、②自己理解力や学習意欲など生涯発達につながる力」のふたつが重視されています。つまり、学力とは、『自分の人生をつくり、社会に参加する力』であると考えられています。

近年、教育の現場では、『確かな学力の獲得』を目指して、①「基礎基本の充実」と、②「自ら学び、自ら考える力を育てる」のふたつを共に重視してきました。

そして、教師達や各学校での授業改革の取り組みによって、充分とは言えませんがその成果を徐々に挙げつつあることは、各種の授業研究や指導実践の発表からもうかがえることであります。

それらの実践では、子ども達にしばしば見られる「学びからの逃げ」から、「すすんで学ぶ力を身につけさせること」のたいせつさが強調されています。



現在、「ゆとり教育」と「学力の低下」が関連づけられて論議されています。ある程度の関連は考えられますが、科学的で慎重な検証が必要であると考えています。

先進諸国が教育政策に力を入れていよう、いまや、教育の質を上げることが私達にとっては、大きな課題であります。

しかし、教育行政においては、教育現場における人材難と財政難、さらには分権化の流れ、と大きな変化が生じています。

それらの状況を踏まえた上で、現行の学校教育を考えると、小学校四、五年生くらいまでは、共通に学ぶべき基礎基本の中身を明確にした上で、できるだけ多くの子どもに「読み・書き・算」を中心に基礎力がつくように、じっくり学べる時間を確保することが必要であると思えます。

そして、小学校段階でしっかりと基礎学力をつけた上で、学年の上昇と共に、「学ぶ力を育てる」ために、子ども達の成長と発達状況、地域の課題や環境・実情に応じて、多様な教育実践が展開されることが望ましいと考えています。

私は、学力向上の施策として、次の二点の実現を図っていきます。

一、教師の指導力の向上と充実を図ります。特に、教育現場の授業研究が、広く父母・地域に関かれ、それらの方々の意見を授業に生かすことができるような「教育指導行政」を整備していきます。

二、二十五人学級をめざすことによって少人数教育を推進し、子ども達一人ひとりに行き届いた教育の実現を進めていきます。

教育に関する重点目標

- ・ 基礎・基本的学力の向上をめざし、少人数教育を推進します。(25人学級の実現)
- ・ 学校・家庭・地域社会が連携した教育体制を確立します。
- ・ 生徒指導の向上を図り、いじめ・不登校・非行等の対策と指導の充実に努めます。
- ・ 生涯学習の推進に努め、公民館・図書館・学校開放等の施設の整備や内容の充実を図ります。

